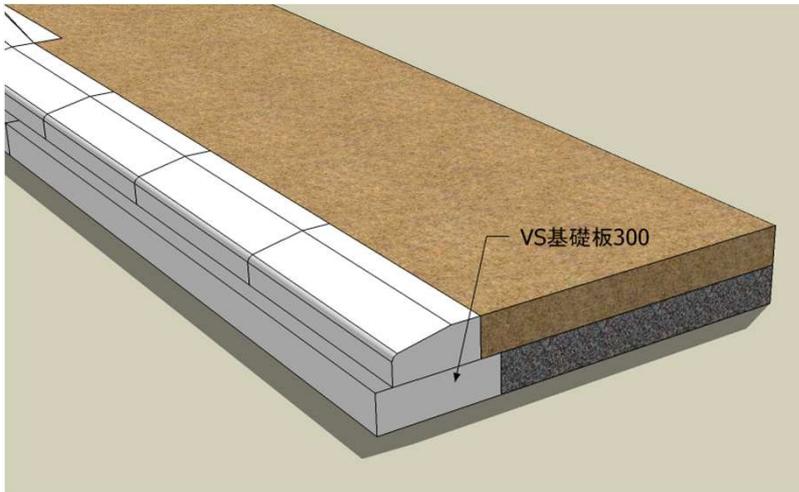


VS基礎板200~300

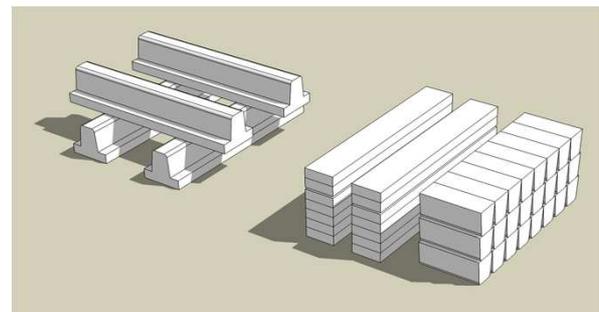
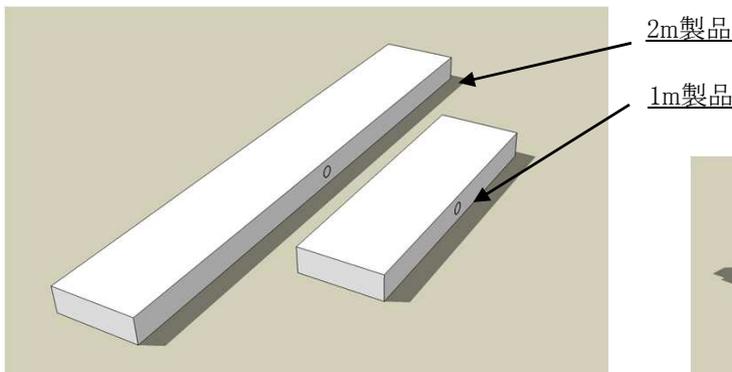


歩車道境界ブロックを据付する際の基礎部分について、通常は現場打コンクリートで施工していますが、

- ・現場打は手間がかかる
- ・養生期間が必要なので、工程がいったん止まってしまう
- ・積算以上に費用がかかっているかもといった声が聞かれます。

そこで、幅200~300mmのVS基礎板を新たに開発しました。現場打をプレキャスト化することにより、簡単かつ早期の施工が可能となります。

延長の短い現場や街中での現場で、特に効果を発揮します。

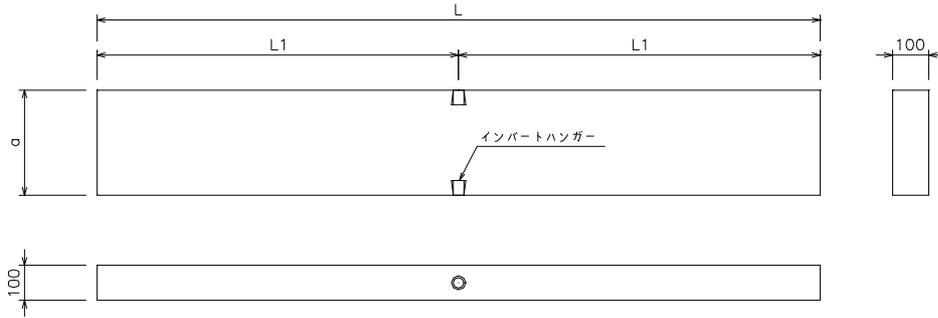


製品置き場イメージ図

■プレキャスト製品と現場打コンクリートとの比較

項目/製品	VS基礎板200~300	基礎付歩車道境界ブロック	現場打コンクリート
主な特徴	基礎コンクリートをプレキャスト化することで、早期施工が可能	基礎コンクリートと境界ブロックを一体化	現場打なので、カーブなどの対応も可能
使用重機	300サイズ2M製品でも144kgなのでバックホウでもOK	製品重量が約500kgなので、大きな重機が必要	人力のみ(荷卸しや小運搬では重機が必要)
手間	製品据付は2回必要	製品据付が1回で済む	型枠の設置や養生など、事前準備が必要
養生期間	ほぼ必要なし	ほぼ必要なし	必要
施工量	VS基礎板を据付した後に続けて境界ブロックを据付できるので、手待ちがなく、施工量は伸びる傾向にある	1回の据付で高さを合わせなければならないので、1日当りの施工量はどうしても少なくなる	積算による施工量。現場によっては小運搬作業も必要
作業スペース	必要最小限のスペースで施工ができる	製品を置くスペースが必要なので、幅の狭い歩道修繕工事や土場が近くにない工事では苦勞をする	人力なのでほとんど必要ないが、現場に生コン車を止めるスペースが必要となる
評価	◎	○	△

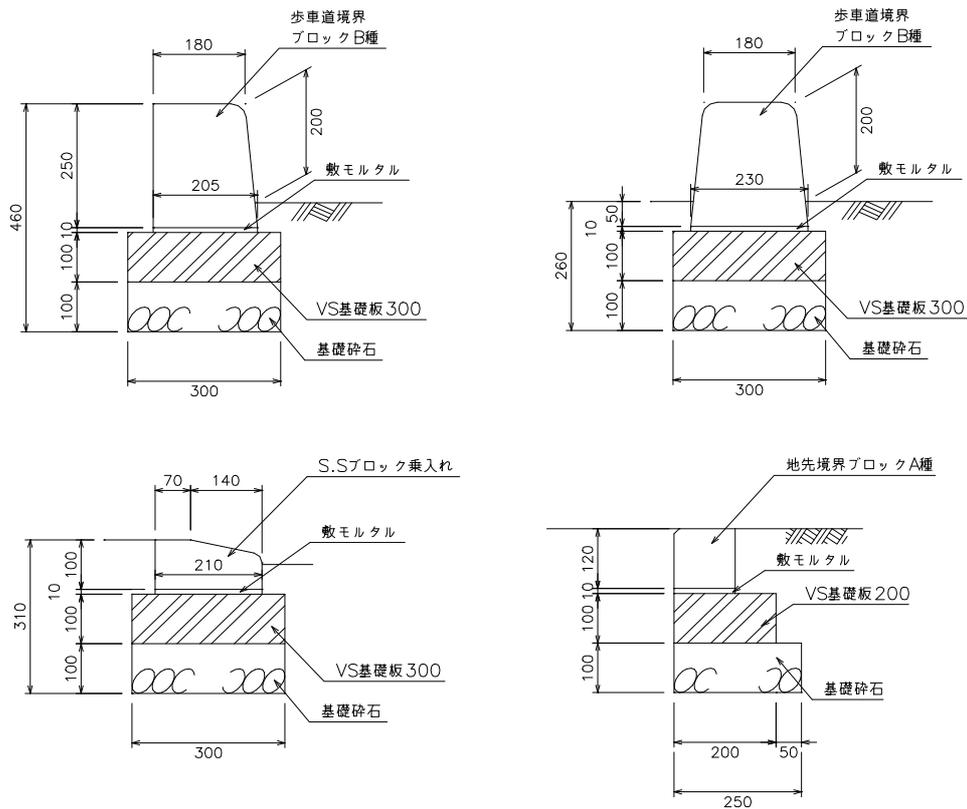
製品図



呼び名	参考重量 (kg)	寸法(mm)		
		a	L	L1
VS基礎板200 2m	96	200	2000	1000
VS基礎板250 2m	120	250	2000	1000
VS基礎板300 2m	144	300	2000	1000
VS基礎板200 1m	48	200	1000	500
VS基礎板250 1m	60	250	1000	500
VS基礎板300 1m	72	300	1000	500

製品使用例

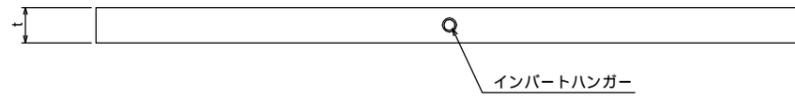
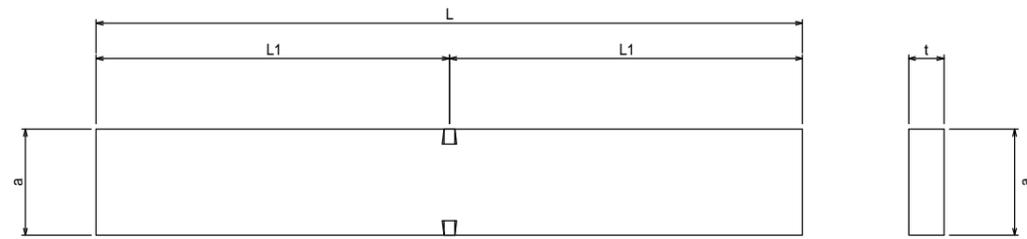
※片面、両面歩車道境界ブロックや、地先境界ブロックの基礎として使用してください



 松阪興産株式会社

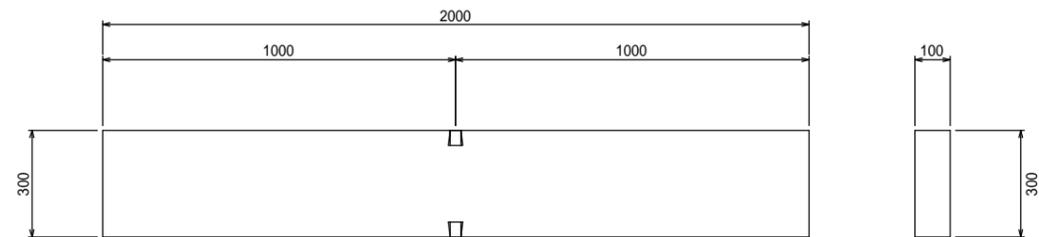
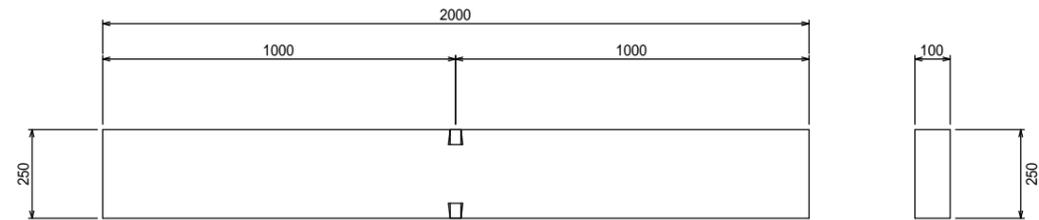
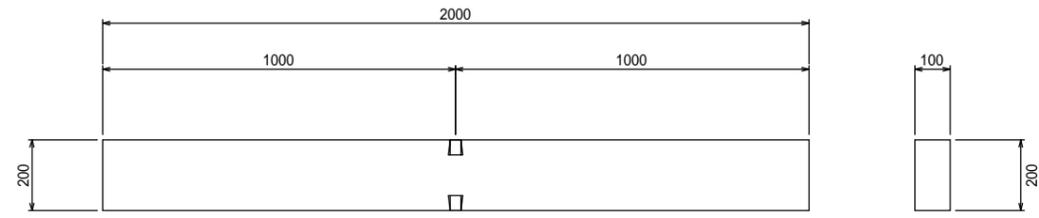
本 社 〒515-0005 三重県松阪市鎌田町253-5
 TEL. 0598-51-0211 FAX. 0598-51-1151
 ホームページ <http://www.matsusaka-kosan.co.jp>

H30.1版



製品寸法表

適用	製品名	a	L1	L	t	参考重量 (kg)
	V S 基礎板200 2m	200	1000	2000	100	96
	V S 基礎板250 2m	250	1000	2000	100	120
	V S 基礎板300 2m	300	1000	2000	100	144
	V S 基礎板200 1m	200	500	1000	100	48
	V S 基礎板250 1m	250	500	1000	100	60
	V S 基礎板300 1m	300	500	1000	100	72



図面名称	VS基礎板200 ~ 300	
縮尺	A1 1/10	H30.1版